

教育格差の是正は本人の自覚を促すことで解消できる

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日の「開倫塾の時間」では、勉強の仕方、特に家庭学習の仕方についてお話をさせていただきます。家庭学習というのは、学校や学習塾の授業以外で自分でする勉強と考えていただいてもよいかと思います。学校や学習塾などいろいろなところで先生から教えていただくほかに何をしたらよいのか、自宅や図書館、自習室などでどのような勉強をしたらよいのかということについてお話をさせていただきます。
3. 何ととっても大事なものは学校の教科書やいろいろな資料集です。ですから、教科書や資料集を用いて自分で勉強する場合には、辞書を活用することを私は一番お勧めします。英和辞典や国語辞典などを自分で用意して、わからないことばや意味不明の語句が出てきましたら自分の力で辞書を引くことが大事です。もちろん電子辞書でもよいです。辞書を引き終わりましたら、調べた語句をノートに書き写し、そのノートを繰り返し繰り返し読むとよいと思います。
4. このようにしますと、語彙(ごい)数、ことばの数が増えて文章の意味を理解することができます。また、ことばの意味を調べることによって、言語力や読解力を高めることができます。ことばの数が増えて文章の意味が理解できるようになりますと、1つの科目だけではなく英語・理科・社会・国語・音楽・美術・保健体育・技術家庭というように相乗効果ですべての科目の学力がついてきます。
5. 例えば、音楽の教科書を丁寧に丁寧に辞書を引きながら読むと、ほかの科目のことばもわかってきますので、ほかの科目も力がついてくるのです。また、学校の先生や学習塾の先生の話していることばの意味もよく理解できるようになります。ですから、わからないことばや事柄は、辞書を引いて調べるのが習慣になるようお願いいたします。
6. 家庭学習として次にしていただきたいことは、やはり読書です。もし国語の教材がありましたら、教材に出ている文章のもとの本を本屋さんで買ってきたり、図書館で借りたりして読むとよいと思います。学校の教科書に載っている本はすばらしいですので、ぜひ国語の教科書に載っている文章のもとなっている本・出典を読んでいただければと思います。
7. 特に、小学生・中学生・高校生の教科書にはすばらしい文章がたくさん載っています。ですから、そのもとの本・出典を図書館で借りて読んだり、本屋さんで買って読んだりしていただきますと、読書の好きな子どもになります。できれば小学生・中学生のうちから本を読む習慣をつけると非常

にすばらしいなと思います。また、高校生や大学生など上の学年になればなるほど本は読んだほうがよいと私は思います。

8. それから、本と同じように新聞を読むこともよいと思います。一番よいのは、社説を読んで書き写すことから始めて、だんだんと長い文章を読めるようにすることです。これは、集中力を身に付けるのに非常にすばらしい方法だと思います。
9. 繰り返しになりますが、学校で習った教材は一度辞書を引いて意味がわかるようにすることが大事です。その上で、授業を聞いて理解できたものは音読、つまり声を出して読むことが大事になります。スラスラ読めるようになるまで音読をするのが一つの目安です。よく読めるようになりましたら、書き取り練習を繰り返していただきますと非常にすばらしい家庭学習になります。やはり字は書けたほうがよいので、意味がわかってよく読めるようになったら、書き取り練習をすることによって知識を定着させる、身に付けることが大事です。ぜひ、音読練習や書き取り練習をしていただければと思います。
10. また、算数や数学、理科にはいろいろな問題が出ていますので、計算問題や問題練習もするとよいですね。教科書や学校からいただいたワークブック、問題集に出ている問題は1度だけではなく、2回・3回と繰り返し練習しますと知識が身に付きます。英語では、いろいろな語句を当てはめてその文章を身に付けるパターン練習という方法も勉強の仕方として活用されています。ぜひ、そのような練習も家庭学習でやっていただければと思います。
11. 今月は中間テストや定期テストが行われる学校が多いと思います。テスト勉強をする場合には、過去に出されたテストの問題(過去問)がもし皆様の手元にありましたら、それを繰り返し繰り返しやることもよいと思います。
12. また、受験生は、栃木県では下野新聞社の下野模試、群馬県や茨城県は統一テストなどの業者模試があります。その過去に出た問題、過去問は5年分ぐらいが公表されていますので、同じ時期の過去に出た問題(過去問)を必ず1度はやっていただきたいと思います。できれば、過去問は模試を受けるときと同じ時期の問題を5回ぐらいやると問題の傾向がわかってきますし、自分の不得意なところもわかってきます。不得意分野を補うと偏差値も上がりますので、過去問練習についても積極的に取り組んでいただければと思います。
13. 以上のように、辞書を引く、読書をする、新聞を読む、音読練習・書き取り練習・計算問題練習をする、過去問を繰り返しやることによって、家庭での勉強や自習室での勉強を充実させていただきたいと思います。
14. 今日は、学校や学習塾以外のところでどのように勉強したらよいのかについて、私の考え方を少し述べさせていただきました。ぜひ参考にして下さい。お願いいたします。